

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場会社名 株式会社ジェネレーションパス 上場取引所 東  
 コード番号 3195 URL http://www.genepa.com/  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)岡本 洋明  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 管理本部リーダー (氏名)鈴木 智也 (TEL)03(3343)3544  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	3,107	-	78	-	75	-	45	-
25年12月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 45百万円 (-%) 25年12月期第3四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年12月期第3四半期	31	66	31	40
25年12月期第3四半期	-	-	-	-

- (注) 1. 平成25年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年12月期第3四半期の数値及び平成26年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 当社は、平成26年6月2日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、当連結会計年度の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。  
 3. 当社は、平成26年9月24日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成26年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成26年12月期第3四半期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	962	54.2	521	54.2	521	54.2
25年12月期	770	30.9	237	30.9	237	30.9

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 521百万円 25年12月期 237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
25年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	0.00
26年12月期	-	0.00	-	-	-	-
26年12月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,605	25.5	137	75.7	137	64.2	85	63.7	56	74

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成26年12月期(予想)の1株当たり当期純利益は、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(60,900株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年12月期3Q	1,644,110株	25年12月期	1,428,110株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

26年12月期3Q	-株	25年12月期	-株
-----------	----	---------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	1,434,439株	25年12月期3Q	-株
-----------	------------	-----------	----

(注) 1. 当社は、平成25年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年12月期第3四半期における期中平均株式数(四半期累計)を記載しておりません。

2. 当社は、平成26年6月2日付けで普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行いました。期末発行済株式数及び期中平均株式数につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の是正や株価の回復が進み、企業業績の改善、設備投資の持ち直し、雇用・所得環境の改善によって個人消費が回復基調で推移しました。一方、欧州債務問題及び新興国の景気減速懸念や消費税増税に伴う個人消費の落ち込みの懸念があり、先行きは依然として予断を許さない状況となっております。

このような状況の中、当社グループは「優良な商材を創る企業の大切な思いを、消費者へと伝える橋渡し役を担う企業でありたい」という企業理念のもと、継続的なマーケティングデータの収集と分析及びオペレーションのシステム化を背景とした「ECマーケティング事業」を主たる事業として展開しており、店舗については「リコメン堂」の屋号で、インテリア、ファッション、美容コスメ、スポーツ等のジャンル別に複数のモールにまたがり、合計34店舗(平成26年9月30日時点)を展開しております。また、平成26年9月よりLINE㈱を始めとした卸売を開始しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,107百万円となりました。損益面ではECマーケティング事業における新規出店等により、営業利益は78百万円、経常利益は75百万円、四半期純利益は45百万円となりました。

当社グループは、ECマーケティング事業以外の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、962百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円の増加となりました。

流動資産は955百万円となり、前連結会計年度末に比べ192百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が71百万円、商品が143百万円増加し、売掛金が46百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、6百万円となりました。重要な変動はありません。

#### (負債の状況)

負債は、441百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円の減少となりました。

流動負債は、438百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円の減少となりました。主な要因といたしましては、買掛金が45百万円増加し、短期借入金が100百万円、前受金が39百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### (純資産の状況)

純資産は、521百万円となり、前連結会計年度末に比べ283百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、新規上場に伴う公募増資を実施したことにより資本金が119百万円、資本剰余金が119百万円増加し、四半期純利益の計上により利益剰余金が45百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想につきましては、平成26年9月24日付の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	68,711	140,236
売掛金	516,865	470,403
商品	144,999	288,151
繰延税金資産	2,056	2,747
その他	35,579	57,447
貸倒引当金	△4,808	△3,301
流動資産合計	763,404	955,685
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,413	2,413
車両運搬具	17,768	17,768
工具、器具及び備品	1,685	2,659
減価償却累計額	△17,592	△19,002
有形固定資産合計	4,275	3,839
無形固定資産		
その他	2,194	1,866
無形固定資産合計	2,194	1,866
投資その他の資産		
繰延税金資産	339	453
その他	122	782
投資その他の資産合計	461	1,236
固定資産合計	6,930	6,941
資産合計	770,335	962,627
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	211,400	257,289
短期借入金	100,000	0
未払金	143,449	146,688
未払法人税等	22,209	17,796
前受金	45,654	6,539
その他	7,815	10,612
流動負債合計	530,528	438,925
固定負債		
資産除去債務	2,109	2,124
固定負債合計	2,109	2,124
負債合計	532,637	441,050
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	40,338	159,570
資本剰余金	29,338	148,570
利益剰余金	168,021	213,435
株主資本合計	237,698	521,576
純資産合計	237,698	521,576
負債純資産合計	770,335	962,627

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,107,660
売上原価	2,211,090
売上総利益	896,569
販売費及び一般管理費	818,537
営業利益	78,032
営業外収益	
受取利息	12
助成金収入	4,644
受取手数料	841
その他	154
営業外収益合計	5,652
営業外費用	
支払利息	483
株式公開費用	6,686
その他	687
営業外費用合計	7,858
経常利益	75,826
税金等調整前四半期純利益	75,826
法人税、住民税及び事業税	31,217
法人税等調整額	△804
法人税等合計	30,412
少数株主損益調整前四半期純利益	45,414
四半期純利益	45,414



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)
	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	45,414
四半期包括利益	45,414
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	45,414
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年9月24日付けで東京証券取引所マザーズに上場し、公募増資による払込を受け、新株式216,000株の発行を行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ119,232千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が159,570千円、資本剰余金が148,570千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、ECマーケティング事業以外の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

第三者割当による新株の発行

当社は、平成26年8月18日及び平成26年9月1日開催の取締役会において、野村證券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し（貸株人から借入れる当社普通株式60,900株の売出し）に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、平成26年10月21日に払込みが完了いたしました。

(1) 発行株式の種類及び数	普通株式	60,900株
(2) 割当価格	1株につき	1,104円
(3) 資本組入額	1株につき	552円
(4) 割当価格の総額		67,233千円
(5) 資本組入額の総額		33,616千円
(6) 払込期日		平成26年10月21日
(7) 資金の用途		物流拠点・システム構築のための費用及び人材獲得のための費用並びに戦略的な事業規模拡大の資金に充当する予定であります。